**公立大学法人岩手県立大学総合政策学部による「まちなかウォーカブル推進事業及び盛岡城跡公園芝生広場整備事業の実施に向けた調査（２回目）」の結果について**

## 1　実施概要

### （1）目　的

岩手県立大学総合政策学部教授　倉原　宗孝　氏指導のもと、学部２年生 19 名（以下、調査者）の協力を受け、①桜山地区、②内丸地区、③盛岡城跡公園芝生広場の３地区において国土交通省が公表している「まちなかの居心地の良さを測る指標」（以下、指標）をもとに現地調査を行い、まちなかの回遊性を高め、居心地が良く歩きたくなるエリアの形成を図るための課題を抽出し今後の事業検討の参考とすることを目的に実施した。

### （2）調査地点

①桜山地区（市道内丸大通三丁目線）

サンビル交差点～㈱岩手日報社付近、桜山神社参道

②内丸地区（市道内丸本町通一丁目線）

市道本町通一丁目新庄町１号線丁字路交差点～県道１号盛岡横手線交差点

③盛岡城跡公園芝生広場（中津川側公園広場、ビクトリアロード）

### （3）調査日程

令和５年 11 月 15 日（水）、22 日（水）、23 日（木・祝）

※日程、時間は学生が任意で設定

### （4）調査方法

調査者を３～４人のグループ５組（以下、調査グループ）にわけ、各調査地点における滞在者数や通行者数の計測（概ね３分）、指標の調査項目に沿った評価を行ったほか、調査者（調査グループ）が当該調査を通して感じた意見等をまとめた。

## 2　調査結果

各地区における指標の確認結果及び調査者から出された主な意見等は次のとおりである。指標は、国土交通省作成の分析ツールに基づき安心感、寛容性、安らぎ感、期待感の４項目でそれぞれ評価され、現地で実際に見たこと、行われていたこと（活動）の評価点 4.0 点及び調査者が現地で感じたこと（主観）による評価点 4.0 点の合計 8.0 点が満点となる。なお、４項目の定義は下記参考のとおりである。

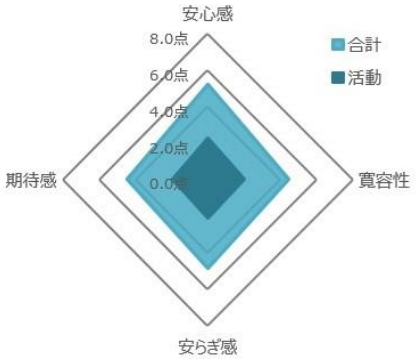
（指標の定義）

〇安心感　　不安感を覚えず滞在・活動ができる状態や要因・結果
〇寛容性　　違和感や疎外感がなく滞在・活動ができる状態や要因・結果
〇安らぎ感　その場所に安らぎを感じ、その場所に留まろうとする状態や要因・結果
〇期待感　　そこで行われる非日常的な活動への期待・喜びを創出する状態や要因・結果

### ①　桜山地区

●指標調査結果

期待感が 4.4 点で相対的に低いが、全項目で 4.0 点を超えており全体的に数値が高かった。前回調査（令和５年８月）では、安心感、寛容性、安らぎ感、期待感がそれぞれ 5.1 点、4.8 点、4.2 点、4.5 点で、下記「調査者の意見等」にもあるように一方通行路かつ歩道、自転車走行帯があることが道路としての安心感を高めていると思われる。また、安らぎ感の点数が上昇した理由としては、本項目の構成設問のうち「座って休憩したり、くつろいだりしている」の改善が主な要因だが、滞在できるスペースの少なさは意見として複数出ており、点数が上昇した理由は、前回調査時は 30℃を超える気候の影響で外で休む人が少なったことが一因と推測される。




| | 活動 | 主観 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 安心感 | 2.3 点 / 4点 | 2.9 点 / 4点 | 5.3 点 / 8点 |
| 寛容性 | 2.0 点 / 4点 | 2.4 点 / 4点 | 4.5 点 / 8点 |
| 安らぎ感 | 2.1 点 / 4点 | 2.8 点 / 4点 | 4.9 点 / 8点 |
| 期待感 | 1.9 点 / 4点 | 2.5 点 / 4点 | 4.4 点 / 8点 |

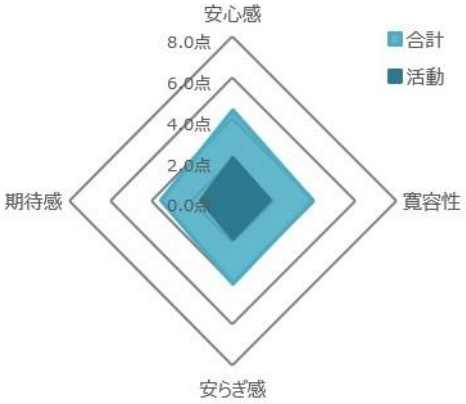
●調査者の意見等

子どもから高齢者、観光客など幅広い属性の人がいるという長所や、道路の通りやすさなどが長所として挙げられた一方、滞在できるスペースが少ないこと、歩行者が自転車走行帯を走らない自転車や幅員が狭い区間（前者は市道内丸大通三丁目線、後者は桜山神社参道（鳥居から市道内丸大通三丁目線まで）のことと推定）において自動車と接触する危険性があることが短所として多く挙げられた。また、飲食店が多いため滞在目的の多くは飲食もしくは（桜山）神社の参拝者とみられるといった意見があった。

### ② 内丸地区

●指標調査結果

各項目で前回調査より評価は上がっているが、安心感のみ 4.4 点となっているほかは、全体的に低い点数に留まっている。最も低いのは期待感だが、飲食店などは一定程度存在することから、地域資源を活かして人を惹きつけるような要因創出の検討が必要と考えられる。また、寛容性が低い理由としては、同地区の官庁街（オフィス街）という特性から子どもや高齢者は少なく、社会人が多いことで属性が限られてみえることが要因と思われるが、曜日や時間帯に応じてコンテンツや空間の活用方法を変える等により、寛容性のほか期待感の上昇にもつながる可能性がある。なお、安らぎ感は前回調査より 1.4 点上昇しているが、大きな要因として「陽だまり、または日陰で過ごせる場所が十分あると感じる」の項目が伸びたことが影響しているため、桜山地区と同様に調査時期の影響が大きいと推測される。




| | 活動 | 主観 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 安心感 | 2.1 点 / 4点 | 2.3 点 / 4点 | 4.4 点 / 8点 |
| 寛容性 | 1.8 点 / 4点 | 2.1 点 / 4点 | 3.9 点 / 8点 |
| 安らぎ感 | 1.9 点 / 4点 | 2.2 点 / 4点 | 4.1 点 / 8点 |
| 期待感 | 1.6 点 / 4点 | 1.9 点 / 4点 | 3.5 点 / 8点 |

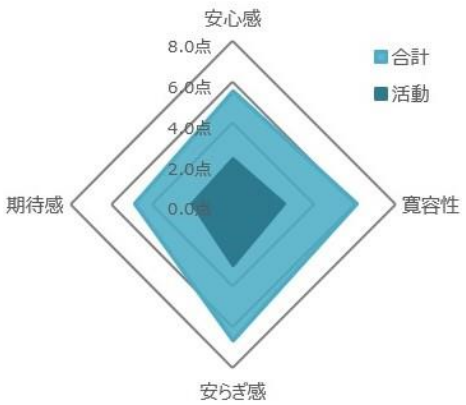
●調査者の意見等

「駐車場がたくさんある」「飲食店が複数ある」など、訪れやすい、訪れたくなる要素に関する意見が長所として挙げられている一方で、「歩道がない（歩道と車道の境界があいまい）」「道幅が狭い」という意見が多く、滞在空間としての魅力が不足している可能性がある。

### ③ 盛岡城跡公園芝生広場

●指標調査結果

寛容性、安らぎ感が 6.0 点を超えており、広場としてのくつろぎやすさや居心地の良さ、様々な活動のしやすさが表れているものと思われる。また、安心感も 5.6 点とポテンシャルの高さが窺える。期待感については、他の調査地点よりは高い点数となっているが、他の項目と比較すると少々低さが目立つ結果となったことから、自然や歴史等のポテンシャルを活かした活用を図ることで、期待感の上昇につながる可能性がある。




| | 活動 | 主観 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 安心感 | 2.2 点 / 4点 | 3.3 点 / 4点 | 5.6 点 / 8点 |
| 寛容性 | 2.5 点 / 4点 | 3.6 点 / 4点 | 6.1 点 / 8点 |
| 安らぎ感 | 3.0 点 / 4点 | 3.7 点 / 4点 | 6.7 点 / 8点 |
| 期待感 | 2.0 点 / 4点 | 2.8 点 / 4点 | 4.8 点 / 8点 |

●調査者の意見等

「ベンチがたくさんあるため、飲食、読書などくつろぐことができる」、「利用者の年代が幅広い」「自然が豊かで緑が多く、川が近い」というように、市中心部において自然と触れ合いながらくつろぐことができる場所という点を魅力に感じる調査者が多かった。短所としては夜間の利用に関するものや「歩くスペースや整備が行き届かないところがある」「禁止行為をしている人がいる」「ベンチが腐食している」など、安全安心な利用を阻害する要因がいくつか挙げられた。